【資料1】

H31.2月
区政会議部会資料

平成31年度

旭区運営方針(案)
（概要版）

旭区マスコットキャラクター
「しょうぶちゃん」

旭区イタセンパラ
マスコットキャラクター
「パラッチ」

大阪市旭区役所

「平成31年度 旭区運営方針」の全体については、旭区役所ホームページをご覧ください。
（http://www.city.osaka.lg.jp/asahi/page/0000451872.html）

旭区がめざすこと

「安心して住み続けられるあたたかいまち 旭区」
の実現をめざす。

旭区の役割

「安心して子育てできるまち」「やさしさあふれるまち」「活力あるまち」「安全に暮らせるまち」の実現に向けて、「ニア・イズ・ベター」に基づく施策・事業を展開するとともに、ムダを徹底的に排除した効率的・効果的な行政運営に取り組む。

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題１

子育て･教育環境の充実

→「旭区将来ビジョン2022」
Ⅰ 安心して子育てできるまち

経営課題２

暮らしを守る福祉等の向上

→「旭区将来ビジョン2022」
Ⅱ やさしさあふれるまち

経営課題３

コミュニティの活性化と
まちの魅力の創出

→「旭区将来ビジョン2022」
Ⅲ 活力あるまち

経営課題４

地域防災力･地域防犯力
の強化

→「旭区将来ビジョン2022」
Ⅳ 安全に暮らせるまち

「旭区将来ビジョン2022」を策定しました！

この度、「安心して住み続けられるあたたかいまち 旭区」を5年後の目標とする
「旭区将来ビジョン2022」を策定しました。
次の4つの柱に基づく取組を強力に進め、区民の皆様の明るい笑顔があふれる旭区の実現をめざします。

1 安心して子育てできるまち

子育て支援の充実

すべての子育て家庭が安心と喜びを実感しながら、子どもを生み、育てられるようなあたたかいまちをめざします。

全ての子どもが希望を持って たくましく生きる力を身につけるための取組

全ての子どもが健やかに成長し、自らの可能性を最大限発揮できる教育環境を学校や地域との連携により実現をめざします。

子育て・教育環境の充実

- ●子育て安全ネット事業　（予算額 3,941千円）
- ●こども食堂支援事業　（予算額 1,431千円）
- ●あさひ学び舎事業　（予算額 5,411千円）　など

2 やさしさあふれるまち

誰もが健康にいきいきと暮らすための取組

健康寿命を延ばし、一人ひとりがいきいきと地域社会の中で生活できるまちをめざします。

誰もが暮らしやすいまちづくりの取組

障がいのある方や高齢者の皆様などの居場所・持ち場をつくり、誰もが自分らしく、安心してともに暮らせるまちをめざします。

暮らしを守る福祉等の向上

- ●健康づくり事業　（予算額 996千円）
- ●地域福祉ビジョン推進事業　（予算額 994千円）
- ●旭区バス運行補助事業　（予算額 7,700千円）　など

3 活力あるまち

コミュニティ活性化のための取組

豊かなコミュニティがさらに強まるよう、区民の皆様の自律的な地域運営を支援し、にぎわいあるまちづくりの取組を進めます。

まちの魅力創出や地域経済活性化施策の展開

まちの魅力が高まり、区民の皆様が地域に愛着や誇りをさらに持ち、多くの人々が訪れる活気のあるまちをめざします。

コミュニティの活性化とまちの魅力の創出

- ●地域活動支援事業　（予算額 32,754千円）
- ●城北公園フェアの開催　（予算額 4,020千円）
- ●旭区魅力発信事業　（予算額 3,646千円）　など

4 安全に暮らせるまち

防災体制の充実

地震や台風、火災、河川氾濫等による災害の発生や被害の拡大を、自主的な防災組織の活躍により、最小限にくい止めることができる体制を作るとともに防災意識の高い旭区をめざします。

防犯啓発の取組

犯罪や交通事故のない、安全で安心して暮らせるまちを、関係機関や地域と協働してめざします。

地域防災力・地域防犯力の強化

- ●地域防災事業　（予算額 11,289千円）
- ●防犯対策事業　（予算額 3,008千円）
- ●交通安全運動事業　（予算額 996千円）　など

その他の取組

緊急安全対策

- ●附設会館非常用自家発電機設備改修（予算額 4,921千円）
- ●区庁舎非常用自家発電機設備等改修（予算額 5,523千円）　など

経営課題1　【子育て・教育環境の充実】

戦略1－1　【子育て支援の充実】

＜めざす状態＞

妊娠出産期、乳幼児期それぞれの子育てニーズに応じた取り組みを行うことによって、安心してこどもを育てられ、地域全体で見守りが行われていると感じるまちづくり

＜戦略＞

・子育ての不安感・負担感を軽減するため、必要な支援・相談体制をつくり、参加や交流を促す。

・子育て支援機関での「あさひ子育て安心ネットワーク（あさひキッズネット）」を充実させ、地域全体で子育てを支える仕組みづくりを強化する。

・要保護児童対策として、要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関における情報共有と支援体制を整備・充実させる。

めざす状態を数値化

子育てに関する相談やサポートに満足している割合（区民アンケート）
32年度までに65％以上
＜29年度実績62.7％＞
＜28年度実績35.9％＞

平成３１年度に取り組むこと

	H31具体的取組	H31業績目標	H30業績目標
①	**乳幼児とその保護者の健康を保つ支援**【予算額2,933千円】 ・乳幼児とその保護者の心身の健康の保持を支援 ・発達障がい等の早期発見・早期支援の強化 ・あさひプレママサロン（妊婦の交流会）の開催	臨床心理士による相談件数 600件以上	500件
②	**支援が必要な子ども・家庭へのサポート**【予算額1,393千円】 ・「あさひ子育て安心ネットワーク（あさひキッズネット）会議」の開催 ・子育て中のお母さんの負担軽減やストレス解消などの講座の開催 ・地区ネットワークの仕組みの構築 ・要保護児童対策地域協議会実務者会議の開催 ・小中学校に発達障がいサポーターを配置	モデル地区におけるキッズカードの所持率 50%以上	講座やイベントの参加者アンケート及び発達障害サポート事業の学校アンケートにおける事業の満足度 70%以上
③	**制度の周知・相談機能の充実**【予算額483千円】 ・子育て相談メールの受付、子育て情報誌の定期発行 ・子育て支援ホームページを体系的に整備 ・子育て中のお母さんの負担軽減やストレス解消などの講座やイベントの開催 ・幼稚園・保育所（園）情報フェアの開催	講座やイベントでのアンケートにおける満足度 70%以上	子育て中の家族が様々なことについて相談やサポートが受けられるようになっていると感じる区民の割合 《区民アンケート》 63.5%以上

経営課題1　【子育て・教育環境の充実】

戦略1－2　【子どもへの教育支援】

＜めざす状態＞

全ての子どもが健やかに成長し、基礎的な知識を習得し、学習習慣を定着させる

＜戦略＞

・小学生及び中学生を対象として、基礎学力向上のための事業を実施する。

・学習習慣や生活習慣が十分身についていない子ども達に対して、学習支援や生活指導等を行う事業を実施する。

めざす状態を数値化

学習習慣が確立されている児童・生徒の割合
《教員アンケート・区民アンケート》
32年度までに60％以上
※新指標のため前年度測定値なし

平成３１年度に取り組むこと

	H31具体的取組	H31業績目標	H30業績目標
①	<u>**中学生の基礎学力定着支援**【予算額1,862千円】</u> ・「旭ベーシックサポート事業」の実施。 ・「旭塾」を実施。	参加生徒の学習意欲の向上や宿題、自主学習習慣の定着、つまづきの解消および基礎学力向上について、いずれも成果があったと感じる学校　4校	4校

②	**小学生の学力向上支援【予算額6,716千円】** **・「学力アップアシスト事業」の実施。** **・「児童の学力向上サポート事業」の実施**	参加児童の学習意欲の向上や学習習慣の定着、つまづきの解消および基礎学力向上について、いずれも成果があったと感じる学校　10校	10校
③	**小学生の体力・運動能力向上支援**【予算額1,083千円】 ・「児童の運動能力向上サポート事業」の実施	**参加児童の運動能力・体力の向上について、成果があったと感じる学校** **6校以上**	H31新規事業
④	**子どもがたくましく生きる力をつける取組**【予算額5,141千円】 ・中学生に対して居場所を提供 ・学習支援サポーターによる宿題復習サポートを実施 ・調理実習、参加型・ワークショップ形式の学習や討論形式のプログラムを開催 ・あさひ学び舎卒業生に対して、自習室を提供し中学生と同日程で学習・相談支援を行う。	参加した中学生の高等学校等への進学率90%	100%
⑤	**子どもの自立心を育むための支援【予算額872千円】** **・あさひ学び舎事業と連携し、中学・高校生の職業観や就労意識形成** **・各種職業従事者を招き、講話及び体験講座を実施** **・区内企業等の協力による職場・施設等見学**	**事業参加者の満足度が** **70%以上**	**H31新規事業**
⑥	**こども食堂における学習等支援**【予算額1,538千円】 ・学習・生活習慣を指導する支援員を派遣 ・こども食堂が企画する食育等の体験学習への講師派遣 ・運営事業者対するアドバイス・講習会等コーディネーターの派遣 ・学習支援に必要な教材等をこども食堂に配備 ・新規開設に向けた講演会等の啓発活動を実施	学習できる環境が整い、学習・生活習慣がついたと感じる運営者**60%**以上	50%以上

経営課題2 【暮らしを守る福祉等の向上】

戦略2－1 【健康寿命を延ばす取組】

＜めざす状態＞

・区民一人ひとりが健康の重要性を意識し、生活習慣病の改善及び早期発見・早期治療を実践する区民の割合を増やす。

・高齢者一人ひとりが自らの健康に関心を持ち、自らの力で自立した生活ができる高齢者の割合を増やす。

＜戦略＞

・医師会・歯科医師会・薬剤師会等区内の関係団体と協力し、健康に関する興味・動機づけを行える催し（あさひ健康フェスタ）を開催する。

・介護予防のため、「いきいき百歳体操」の新規立ち上げや運営をを支援する

めざす状態を数値化

健康意識の高まりを感じる区民の割合
《区民アンケート》
32年度までに83％以上
＜29年度実績70.5％＞
＜28年度実績62.3％＞

平成３１年度に取り組むこと

	H31具体的取組	H31業績目標	H30業績目標
①	**健康づくりの取組**【予算額593千円】 ・健康フェスタの開催。 ・がん検診受診について区広報紙等で周知。 ・要介護者に対し、歯科医師による訪問健診を無料で実施。	あさひ健康フェスタの参加延べ人員500名以上	500名以上
②	**高齢者がいきいきと暮らすための取組**【予算額348千円】 ・「いきいき百歳体操」拠点の新規立ち上げを支援 ・「いきいき百歳体操」の代表者との意見交換を行う。 ・「認知症予防講演会」を実施 ・「地域型認知症予防プログラム」を実施し、自主活動支援を行う。	いきいき百歳体操参加者アンケートで、筋力の維持増進に繋がっていると答えた割合80%以上	80%以上

経営課題2 【暮らしを守る福祉等の向上】

戦略2－2 【誰もが暮らしやすいまちづくりの取組】

＜めざす状態＞

障がいをお持ちの方や高齢者の方などの居場所・持ち場をつくり、誰もが自分らしく安心してともに暮らせるまちをめざす。

＜戦略＞

複合的な課題のある要援護者や、深刻化するまで気付かれない要援護者等、対応の難しい課題が増加している中、福祉関係機関やNPO法人、ボランティア団体等のネットワークを強化し、地域住民とも連携して見守りや支援の体制を整える。

平成31年度に取り組むこと

めざす状態を数値化

●障がい者をｻﾎﾟｰﾄする仕組みが整っていると感じる区民の割合《区民アンケート》
32年度までに65%以上
＜29年度実績64.1%＞
＜28年度実績36.5%＞

●高齢者をｻﾎﾟｰﾄする仕組みが整っていると感じる区民の割合 《区民アンケート》
32年度までに65%以上
＜29年度実績63.0%＞
＜28年度実績43.5%＞

	H31具体的取組	H31業績目標	H30業績目標
①	**<u>誰もが活躍できる場づくりのための取組</u>**<u>【予算額1,041千円】</u> ・地域福祉ビジョンを策定する。 ・障がい者福祉事業所の授産製品の物販や、作品展示等の場を提供し、活動の周知を行う。 ・「障がい者週間」（12月3日～9日）に開催される座談会や交流会を通じて、啓発活動を行う。	福祉関連のイベントや学習会等において実施するアンケートで、満足度70%以上	70%以上
②	**<u>高齢者相談機関等の啓発活動</u>**<u>【予算額616千円】</u> ・「旭区認知症安心ガイド」を一部改良する。 ・9月の高齢者月間に併せて、広報あさひ特集号で相談機関等の周知を行う。	高齢者の相談機関「地域包括支援センター」の認知度《区民アンケート》60%以上	H31新規項目
③	**<u>旭区バス運行補助事業</u>**<u>【予算額7,700千円】</u> 高齢者等に対する区内交通アクセスの確保を目的とした補助事業を継続する。	1月あたり平均7,000人以上が利用	6,700人以上

経営課題３ 【コミュニティ活性化とまちの魅力の創出】

戦略３－１ 【コミュニティ活性化の取組】

＜めざす状態＞

地域課題を共有しながら活動できる校区等地域を単位として、各種地域団体や企業、NPO等、多様な主体が地域社会の将来像を共有しながらそれぞれ特性を発揮し、様々な地域課題に取り組む地域活動協議会が、自律的に地域運営を行う活力ある地域社会

＜戦略＞

・地域団体やNPO、企業等地域のまちづくりに関する様々な活動主体が幅広く参画し、民主的で開かれた組織運営と会計の透明性を確保しながら地域運営に取り組む活動を積極的に支援するため、自律的に地域課題の解決に取り組む地域活動協議会の運営支援に取り組む。

・生涯学習関連団体や区民ボランティア、社会教育関係団体等と連携した取組を進める。

めざす状態を数値化

地域が自律的に運営されていると感じる区民の割合
《区民アンケート》
32年度までに65％以上
※新指標のため前年度未測定

平成３１年度に取り組むこと

	H31具体的取組	H31業績目標	H30業績目標
①	**活力ある地域社会づくり**【予算額30,754千円】 ・区内の全10地域活動協議会が広く住民全般を対象として行う事業や地域活動協議会の運営等に関するアドバイスを実施する。	防犯･防災、子ども･青少年、福祉、健康、環境及び文化･スポーツの分野において、広く住民全般を対象として全10地域活動協議会が行う事業実施件数　120件以上	120件以上
②	**コミュニティの活性化**【予算額6,854千円】 ・地域の各種団体と協働してコミュニティ活性化のための各種催しを企画・実施する。	コミュニティ活性化のための各種催しを知っている区民の割合 《区民アンケート》 95%以上	95%以上
③	**文化芸術によるコミュニティづくり**【予算額2,091千円】 ・区民が中心となった文化芸術を通じたコミュニティを育成するため「旭区総合文化祭（仮称）」を開催する。	①会員アンケートにおいて、当会に参加しつながりや活動が拡がったと感じる割合　70%以上 ②イベント参加者アンケートにおいて、文化芸術を通じた旭区のコミュニティが活性化したと感じる割合　50%以上	H31新規項目
④	**生涯学習推進事業**【予算額1, 298千円】 生涯学習関連機関・区民ボランティア・社会教育関係団体等と連携した事業を実施する。	参加者アンケートにおいて、生涯学習講座等へ参加することで人と人がつながり、コミュニティの活性化に寄与すると感じると回答する人の割合　80%以上	80%以上

経営課題３ 【コミュニティ活性化とまちの魅力の創出】

戦略３－２ 【まちの魅力創出や地域経済活性化施策の展開】

＜めざす状態＞

・若い世代が地域を支え、にぎわいや活力の源泉となるバランスのとれた人口構成となる。

・区の魅力情報が豊富に発信されることにより、住んでみたい区にあげられ、地域の賑わいや活性化につながり、さらに区民が旭区に愛着をもつ状況をめざす。

＜戦略＞

・地域資減である城北公園等を活用したにぎわいの創出とまちの魅力の発掘・発信を強化し、地域に対する愛着につなげる。

・地域と商店街等との結びつきを深め、地域経済の活性化を推進する。

・区への定住促進や集客を図り、区の活性化につなげる。

めざす状態を数値化

地域の賑わいや活性化が進んだと感じる区民の割合（区民アンケート）
32年度末　80%以上
＜29年度実績75.6%＞
＜28年度実績45.1%＞

平成３１年度に取り組むこと

	H31具体的取組	H31業績目標	H30業績目標
①	**旭区魅力の創出と発信**【予算額3,080千円】 ・旭区ブランドの認定 ・区の魚（イタセンパラ）の保全活動及びPR ・小学校での花菖蒲栽培 ・音楽を通じたにぎわいイベント ・あさひ、だいすき♪『旭区検定』の実施 ・大阪工業大学との連携事業の推進	一般紙における旭区の魅力発信5件以上	５件以上
②	**城北公園の魅力向上**【予算額4,000千円】 ・城北公園フェア2019	区外からの来場者割合70%以上	60%以上
③	**商店街の魅力向上**【予算額637千円】 ・若手商店主向け勉強会 ・空き店舗への若手商店主の誘致 ・インバウンド誘致（情報発信・職業体験）	商店街に魅力を感じる区民の割合《区民アンケート》 75%以上	75%以上

経営課題4 【地域防災力・地域防犯力の強化】

戦略4－1 【「ご近助」精神による防災体制の充実】

＜めざす状態＞

地震や台風、火災、河川氾濫などによる災害の発生や被害の拡大を、自主防災組織の活躍により、最小限にくい止めることができる体制をつくるとともに防災意識の高いまちづくりをめざす。

＜戦略＞

・地域ごとの特性や熟度に応じた防災体制づくりを進める。

・災害時の初動に強い自助・共助（ご近助）の地域づくりをめざし、大型粉末消火器や防災物資等の使用方法等のPRに努める。

めざす状態を数値化

旭区の地域防災体制に満足している区民の割合
《区民アンケート》
32年度までに70%以上
＜29年度実績67.6%＞
＜28年度実績36.6%＞

平成３１年度に取り組むこと

	H31具体的取組	H31業績目標	H30業績目標
①	**地域防災意識の向上**【予算額1,885千円】 ・地域での防災講座、学校での土曜授業、一般向け防災講演会及び広報紙等による防災啓発を実施する。 ・自主防災組織及び地域防災リーダーの育成、区職員の防災力向上のための訓練や研修を実施する。	防災訓練や防災講座などにこの3年間で1回以上参加した区民の割合《区民アンケート》 30%以上	30%以上
②	**地域防災力の底上げ**【予算額8,829千円】 ・必要な防災物資等の整備・充実を図ることにより、地域の災害対策本部や避難所並びに区災害対策本部の機能強化に取り組む。 ・避難行動要支援者（災害時要援護者）の支援、空家対策、関係機関や民間事業者との災害時連携や協定締結等の取り組みを推進する。 ・大型粉末消火器の地域への配備と使用方法の周知を図る。	旭区の防災物資等の整備状況等に満足している区民の割合《区民アンケート》 40%以上	40%以上

経営課題4 【地域防災力・地域防犯力の強化】

戦略4－2 【地域防犯力の強化】

＜めざす状態＞

・防犯カメラの設置や青色防犯パトロールで、犯罪や交通事故のないまちをめざす。

＜戦略＞

・防犯パトロール活動や防犯啓発を実施する。特に自転車盗対策の強化に市民局や警察署と連携しながら重点的に取り組む。

・交通マナーの向上や、「交通事故をなくす運動旭区推進本部」による交通事故をなくす取組み、放置自転車・自転車のマナーアップの取組みを継続して実施し、安全で安心して暮らせるまちづくりの取組みを進める。

・警察・建設局・地域・周辺事業者の協力を得て、やなぎ通りの歩道にある自転車を無くす。さらに、やなぎ通りを自転車の安全通行モデル路線として整備していく。

めざす状態を数値化

区による防犯関係の取組が成果につながっていると感じている区民の割合（区民アンケート）
32年度までに75％以上
＜29年度実績74.7％＞
＜28年度実績65.5％＞

平成３１年度に取り組むこと

	H31具体的取組	H31業績目標	H30業績目標
①	**防犯対策の強化**【予算額2,608千円】 ・EV車による青色防犯パトロールの実施 ・警察と連携し、地域と協働して自転車盗難防止キャンペーンやひったくり防止キャンペーン等を実施 ・防犯カメラを設置（5台）・維持管理（平成28年度設置の9台分）	平成31年の街頭における犯罪発生件数を前年より減少させる	区による犯罪関係の取組が成果につながっていると感じている区民の割合（区民アンケート） 75％以上
②	**交通安全・自転車のマナーアップ及び放置自転車対策の強化**【予算額765千円】 ・交通安全大会や区民との街頭啓発 ・柳通りの自転車レーンを整備（Do！プラン） ・駅や中心市街地の特性を踏まえた効率的な撤去の実施（区長権限建設局実施）	平成31年の区内自転車交通事故発生件数を前年より減少させる	区による交通安全の取組の成果が上がっていると思う区民の割合（区民アンケート） 71％以上